

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		
	2	職員の配置数は適切であるか	4		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1	トイレの便座の位置、手洗い場の位置が高く小さい児童には負担が大きいと感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	1	やっではいるものの、もう少し具体的に行う必要があると感じる。取組み始めであり、理解・意欲をもって参画できる体制づくりが必要。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	2	今回が初めてのため不明。事業所評価は、今回が初めて。その後の業務改善につなげる
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	3	今回が今回が開設初めてのためこの結果を活かします
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	今回が初めてのため不明。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	3	1	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3	1	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3	1	個別支援をもっと具体的に行っていきたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		職員全員で考えている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		なるべく偏りがないように工夫している
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	3	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		職員でしっかり記録できている。様式の変更が続き、まだまだ定着しない
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1	分かりません。事業所内での支援会議の月間スケジュールを組む必要がある
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	2	分かりません。連携の体制づくりが、今後の課題
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	2	現在、該当利用者なし。医ケアが必要な児童や重心の児童の利用が無いため
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	2	現在、該当利用者なし。医ケアが必要な児童や重心の児童の利用が無いため
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	1	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	職員向けの研修として、年間計画を作成・実施
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	3	今まで、開催の情報がない。連携の体制づくりが今後の課題
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4		日々の申し送りの有無を職員で確認し、その日の活動の様子を伝えている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	3	実施する為の研修修了者がいるので、是非、取り組みたい
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3	1	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	悩みを聞き、必要に応じてその場で答える。児発管にも報告をし児発管から保護者へ再度対応していただくことが多い。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	今後、是非、取り組みたい。横のつながりをつくる
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	3	実施する為の体制づくり
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		外部に漏らさないことはもちろん、個人情報に関わるものは全て現場でしか扱わない。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	地域活動として、是非、取り組みたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4		年間計画の作成と実施
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		職員向けの研修として、年間計画の作成・実施
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	1	口頭ではできているが、お薬情報のコピーを控えることが、今後の課題
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3	親からの聞き取りはできているが、医療的指示まである児童は、現在いない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	事例集ではなく定例会議にて都度危険な状況を想定し話し合っている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	2	身体拘束についての表記が、計画書にない。改善必要

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 きいろいリボン たいようのひろば 保護者等数(児童数) 2 回収数 2 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	2					
	2 職員の配置数や専門性は適切である	1			1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2					
適切な支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	1			1		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	2					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2					
適切な支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	2					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	2					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	1			1		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	2					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている			2			どのような会の開催方法があるか、アンケート調査などを活用して、定期的の実施出来るよう、検討する。
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	2						

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	2					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2					
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	1			1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1			1		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	2					
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	2					
	23	事業所の支援に満足している	2					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。